

イエスの宣教

奇跡その29：イエスは安息日に再び浮腫の男を癒す
ルカ14.1-6

1 ある安息日に、イエスが著名なパリサイ人の家に食事をしに行ったとき、イエスは注意深く観察されていました。

2 見よ！目の前には、異常な腫れに悩まされている男がいた。3 イエスはパリサイ人と律法学者たちに尋ねました。 *「安息日に病気を治すことは許されているか、許されていないか。」*

4 しかし彼らは黙っていたので、イエスはその男をつかんで癒し、去らせました。

5 それから彼は彼らに尋ねた。 *「もしあなた方のどちらかが子供を産んだら あるいは、安息日に牛が井戸に落ちたら、すぐに引き上げないだろうか。」*

6 そして彼らは何も言うことができなかった。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、*赤いイタリック体はイエスの言葉を示します*。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ペレアのパリサイ人の家で
タイムライン	1月または2月（36ヶ月目と37ヶ月目）
イエスの生涯の文脈	第7段階：ペレアにおけるイエスの宣教
	A.ペレア全土におけるイエスの奉仕者たち
タイトル	2. 奇跡その29：安息日に水腫の男を癒すイエス

コメント：

の宣教の物語（ルカ14:1-17:10）の中で唯一取り上げた奇跡です。弟子としての生き方に関する問題は、ルカによるこの約10週間の宣教の記述においても、依然として中心的なテーマとなっています。

イエスがパリサイ人たちとの食事を共にするという招待を喜んで受け入れた時、イエスの恵みと公平な愛が再び現れました。イエスは彼らの唯一の目的が、イエスを貶めるための口実を見つけることだと知っていま

デイリー・ジーザス・ニュース #203

したが、それでも彼らとパンを分け合いました。敵に対する無条件の愛が、イエスに危険を冒させ、彼らに仕える機会を掴ませたのです。

晩餐の席で、イエスが目の前に深刻な病気を抱えた男をすぐに見つけられたのも不思議ではありませんでした。安息日でした。パリサイ人たちは男の病気を利用してイエスを誘惑していたようでした。イエスは安息日に再び病人を癒されるのでしょうか。

パリサイ人たちは、その男の健康を心配するよりも、安息日の仕事を厳しく制限する律法主義的な規則（39個もある！）をイエスが守っているかどうかを見ることだけに興味があったのです。

イエスは彼らの心を知っていたので、男を癒した後、彼らに問いかけました。安息日に自分の子供、あるいは牛でさえ深い穴に落ちたなら、彼らのうちの誰かが儀式を破るのではないのでしょうか。もちろん、子供であれ家畜であれ、愛し、頼りにしている者の命を最優先し、どんなに「労力」がかかっても、大切な命を救うために必要なことは何でもするでしょう。イエスがこれを指摘したとき、誰もその真実を否定できませんでした。

この問いかけの文脈において、安息日に癒されたイエスをパリサイ人は誰も叱責できなかった。しかし、イエスは癒された男を、パリサイ人の策略に利用されてさらなる屈辱を受けるようなことはしなかった。イエスはすぐに男を解放し、パリサイ人の批判的な詮索から離れて、真の友と共に予期せぬ癒しを祝い、存分に楽しむことができるようにした。

ここで、イエスがこの男を心から愛し、思いやっていたことが分かります。一方、パリサイ人たちは彼の苦しみと痛みを自分たちの利益のために利用しようとしただけです。イエスはまた、パリサイ人たちを深く愛し、思いやっていたため、この極めて不快な状況においても彼らと共に留まり、真理をもって彼らに手を差し伸べ続けました。このような場面において、イエスの栄光、謙遜、愛、そして真のしもべとしての偉大さが輝いています。

応用：

パリサイ人たちは理解できなかった。イエスはずっと昔、ガリラヤで安息日の遵守をめぐる論争が始まったばかりの頃、安息日は神によって人々の益のために創造されたと彼らに告げていた。神は、宗教的な祝日に関する人間が作った規則を守るために人間を創造したのではない。

クリスチャンは律法主義に陥りやすく、人間が作った規則に人々を従属させてしまいます。規則が、本来その規則が奉仕するはずの人々よりも重要になると、律法主義が定着してしまいます。

自分自身や他人に不利益となるようなルールに従ってしまったことはありませんか？

今日の聖書箇所は、イエスがその問題に対してどう行動するであろうかについて、何を教えてください。あなたはどのようにしますか。